

補助金交付申請書（長寿命型 様式2）記入例

補助金申請者の概要欄は、適用申請書<様式2-2・VI-1>に記載した事項と相違ないか確認してください。相違、変更がある場合は、計画変更の手続きを行ってください。

支援室からグループ事務局にご案内する事業者番号「04 00## ● \*\* ¥¥¥¥」を記入してください。

交付申請を提出する受付時期を記入してください。

＜長寿命型 様式2＞

交付申請の受付時期

事業者番号 **049999B1349680** ↓アルファベットがこの欄になります。 第1期

↑支援室から送付した通知に記載の事業者番号を正確に記入してください。 ↑提出する時期を記入してください。↑

申請日：平成 **28** 年 **8** 月 **27** 日 ↑グループ事務局に提出する日を記入してください

地域型住宅グリーン化事業実施支援室 殿

### 補助金交付申請書【補助金申請者記入用】

採択を受けた「地域型住宅グリーン化事業」について、補助金交付申請を行う対象住宅が、補助対象となる住宅の要件や、採択された要件（共通ルール、地域材の認証制度として有効なグループ構成員による供給等）等、地域型住宅グリーン化事業に必要な事項に適合していることを確認し、補助金交付申請書及び添付書類一式が事実と相違ないことを確約のうえ、補助金交付申請書及び添付書類一式を提出します。

・補助金申請者の概要

|            |                  |   |             |
|------------|------------------|---|-------------|
| 事業者名       | 株式会社〇〇工務店        |   |             |
| 事業者名(フリガナ) | カブシキガイシャマルマルコウモン |   |             |
| 代表者名       | 長持 住夫            |   |             |
| 担当者名       | 長持 花子            |   |             |
| 〒          | 789              | - | 0012        |
| 住所         | 東京都中央区〇〇町二丁目5番8号 |   |             |
| 電話番号       | 03               | - | 2222 - 55** |
| FAX番号      | 03               | - | 2222 - 66** |
| 緊急連絡先      | 080              | - | 5555 - 33** |

↑ 都道府県名より記入してください。 ↑ 市外局番から記入してください。 ↑ 緊急連絡先は、携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入してください。

(注) この申請書は、1回の交付申請において1の申請窓口に正副各1枚となります。1の申請窓口に複数の対象住宅があっても、1の申請窓口毎に正副各1枚を作成し提出してください。

---

申請窓口記入欄

|                               |                               |                               |  |      |      |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--|------|------|
| <input type="checkbox"/> 当初登録 | <input type="checkbox"/> 追加登録 | <input type="checkbox"/> 初回申請 | <input type="checkbox"/> 2回目～変更無 → 建宅有 | 計変   | 回    |
|                               |                               |                               |  | 受付日  | ／    |
|                               |                               |                               |  | 謄本   | 有・代替 |
|                               |                               |                               |  | 建設許可 | 有・不要 |
|                               |                               |                               |  | 宅建免許 | 有・該無 |

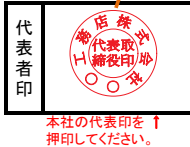
事業者名は、登記簿謄本と同様に記入してください。特に漢字の間違えに注意してください。(旧字などに注意)

代表者名は、登記簿謄本と同様に記入してください。特に漢字の間違えに注意してください。(旧字などに注意) 代表者名が2名の場合は、適用申請書に記載した代表者を記入してください。

登記簿謄本の本社の所在地を記入してください。「大字」「字」の記入漏れが多いので注意してください。

平成29年1月以降の申請の際は「29」であることを確認してください。

2回目以降の申請の際は初回の申請時に使用した印と同じ印を使用してください。



本社の電話番号です。下4桁の記入違いが多いので注意してください。

この様式は1つの申請窓口で正副各1枚です。申請窓口が複数になる場合は、申請窓口の数だけ作成してください。 ※同じ申請時期、同じ申請窓口で、複数の住宅を申請する場合であっても、1つの申請窓口で正副各1枚です。

【H28】長寿命型 補助金交付申請書

使用する様式は正しいですか。 【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。



# 地域材使用量計画表（長寿命型 様式4）記入例（1）

地域材使用に関する共通ルールの、  
 具体的取り組み内容が確認できるよ  
 う、使用部位、使用量、使用割合を  
 記入してください。

・グループを通して、同じような形式  
 でまとめてください。  
 ・グループ内で、対象としている部位  
 に違いがないが確認してください。

＜長寿命型 様式4(在来工法)＞  
 の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

## 地域材使用量計画表【補助金申請者記入用】

記入例 1

共通ルールや対象部位の  
 集計方法に応じて部位名  
 を修正してください。  
 ・「梁」と「桁」を  
 →「梁・桁」に修正  
 ・「柱」と「土台」  
 だけに修正  
 など

**共通ルールの内容**  
 主要構造材(柱、梁桁、土台)の過半にグループ指定  
 の地域材を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する。

| 共通ルールで定めた<br>部位<br>(注4) | 材積 (注5.6.7.8)       |    |                           |    | 共通ルールで定めた使用割合、使用量 |   |     |    |                           |                  |
|-------------------------|---------------------|----|---------------------------|----|-------------------|---|-----|----|---------------------------|------------------|
|                         | 対象部位毎の使用量の<br>合計(A) |    | 左欄のうち「地域材」に<br>該当する使用量(B) |    | 使用割合              |   | 使用量 |    |                           |                  |
|                         | 合計                  | 単位 | 合計                        | 単位 | (B/A×100)         |   |     | 単位 |                           |                  |
| 柱                       | 3                   | 8  | 2                         | m3 | 3                 | 1 | 2   | m3 |                           |                  |
| 梁・桁                     | 6                   | 5  | 7                         | m3 | 3                 | 4 | 2   | m3 |                           |                  |
| 土台                      | 1                   | 2  | 4                         | m3 | 0                 | 0 | 0   | m3 |                           |                  |
| 合計                      | 1                   | 1  | 6                         | 3  | m3                | 6 | 5   | 4  | m3                        |                  |
| 対象木材の使用割合<br>(B/A×100)  |                     |    |                           |    | 5                 | 6 | %   |    | 主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に地域材を使用 |                  |
| 仕上材                     |                     |    |                           |    | 1                 | 2 | 3   | 4  | m2                        | 仕上材に地機材を10m2以上使用 |
| 合計                      |                     |    |                           |    | 1                 | 2 | 3   | 4  | m2                        |                  |
| 対象木材の使用割合<br>(B/A×100)  |                     |    |                           |    |                   |   |     |    | %                         |                  |

共通ルールに応じて単位  
 を記入してください。

共通ルールを記入してく  
 ださい。

「0m3」であっても  
 「0」と単位の「m3」を  
 記入してください。

共通ルールで使用割合を定  
 めている場合は、使用割合  
 (%)を記入してください。  
 小数点以下は切捨て  
 す。

小数点はこの位置。

小数点はこの位置。

記入例 2

**共通ルールの内容**  
 仕上材に地域材を10m2以上使用する。

共通ルールの「仕上材」  
 を記入。

共通ルールに応じて単位  
 を記入してください。

使用割合を共通ルールで  
 定めていない場合は記入  
 不要です。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でま  
 ください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合  
 うよう集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材  
 を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太  
 組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

| 在来工法  | 柱      | 梁          | 桁    | 土台    |
|-------|--------|------------|------|-------|
| 2×4工法 | 縦柱、上下枠 | 床根太、端根太 ※1 | 頭つなぎ | 土台 ※2 |

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合は**、(A)欄に  
 は対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合は**、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する  
 木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】長寿命型 地域材使用量計画表(在来工法等)

1枚に記載できない場合は、この  
 様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
 【H28】長寿命型と記載されて  
 いる様式を使用してください。

# 地域材使用量計画表（長寿命型 様式4）記入例（2）

地域材使用に関する共通ルールの、  
 具体的取り組み内容が確認できるよ  
 う、使用部位、使用量、使用割合を  
 記入してください。

・グループを通して、同じような形式  
 でまとめてください。  
 ・グループ内で、対象としている部位  
 に違いがないが確認してください。

## <長寿命型 様式4(在来工法)>

の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

### 地域材使用量計画表【補助金申請者記入用】

記入例 3

・対象住宅の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

共通ルールの内容

母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用する。

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は  
 売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1.2.3)

| 共通ルールで定めた<br>使用部位 (注4) | 材積 (注5.6.7.8)          |    |   |   | 左欄のうち「地域材」に<br>該当する使用量 (B) 単位 |    |   |   | 共通ルールで定めた使用割合、使用量 |                       |  |
|------------------------|------------------------|----|---|---|-------------------------------|----|---|---|-------------------|-----------------------|--|
|                        | 対象部位毎の使用量の<br>合計 (A)   | 単位 |   |   | 対象部位毎の使用量の<br>合計 (A)          | 単位 |   |   |                   |                       |  |
| 1                      | 母屋                     | 0  | 8 | 2 | m3                            | 0  | 8 | 2 | m3                |                       |  |
|                        | 棟木                     | 0  | 2 | 8 | m3                            | 0  | 2 | 8 | m3                |                       |  |
|                        | 垂木                     | 1  | 2 | 4 | m3                            | 1  | 2 | 4 | m3                |                       |  |
|                        | 間柱                     | 1  | 4 | 8 | m3                            | 1  | 4 | 8 | m3                |                       |  |
|                        | 合計                     | 3  | 8 | 2 | m3                            | 3  | 8 | 2 | m3                |                       |  |
|                        | 対象木材の使用割合<br>(B/A×100) |    |   |   |                               | 1  | 0 | 0 | %                 | 母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用 |  |
|                        | 合計                     |    |   |   |                               |    |   |   |                   |                       |  |
| 3                      | 構造材(柱・梁桁・土台)           |    |   |   |                               | 1  | 0 | 6 | 7                 | m3                    |  |
|                        | 2次部材<br>(母屋・棟木・大引・束)   |    |   |   |                               | 4  | 3 | 5 | m3                |                       |  |
|                        | 羽柄材(根太・垂木)             |    |   |   |                               | 0  | 5 | 0 | m3                |                       |  |
|                        | 仕上材(床材)                |    |   |   |                               | 0  | 7 | 2 | m3                |                       |  |
|                        | 合計                     |    |   |   |                               | 1  | 6 | 2 | 4                 | m2                    | 延べ床面積 123.32㎡<br>123.32㎡×0.12㎡/㎡=14.79㎡<16.24㎡ ∴OK |
|                        | 対象木材の使用割合<br>(B/A×100) |    |   |   |                               |    |   |   |                   | %                     |  |

共通ルールでは部位を指  
 定していないが、対象と  
 した部位を記入してくだ  
 さい。

記入例 4

共通ルールの内容

延べ床面積1m2あたり0.12m3以上の地域材を使用す

共通ルールの適合が確認  
 できるよう計算式を記入  
 してください。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

| 在来工法  | 柱      | 梁          | 桁    | 土台    |
|-------|--------|------------|------|-------|
| 2×4工法 | 縦枠、上下枠 | 床根太、端根太 ※1 | 頭つなぎ | 土台 ※2 |

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合は**、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合は**、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材使用量計画表(在来工法等)

1枚に記載できない場合は、この  
 様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
 【H28】長寿命型と記載されて  
 いる様式を使用してください。

# 地域材使用量計画表（長寿命型 様式4）記入例（3）

地域材使用に関する共通ルール、具体的取り組み内容が確認できるように、使用部位、使用量、使用割合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

**<長寿命型 様式4(在来工法)>**

1の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

### 地域材使用量計画表【補助金申請者記入用】

**記入例 5**

・対象住宅の建築主  
 建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子  
↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1.2.3)

| 共通ルールで定めた使用部位 (注4)  | 材積 (注5.6.7.8)    |    |   |    |                        |    |   |    |                          |
|---------------------|------------------|----|---|----|------------------------|----|---|----|--------------------------|
|                     | 対象部位毎の使用量の合計 (A) |    |   |    | 左欄のうち「地域材」に該当する使用量 (B) |    |   |    |                          |
|                     | 合計               | 単位 |   |    | 合計                     | 単位 |   |    |                          |
| 柱                   | 3                | 8  | 2 | m3 | 3                      | 8  | 2 | m3 |                          |
| 梁・桁                 | 6                | 5  | 7 | m3 | 3                      | 4  | 2 | m3 |                          |
| 土台                  | 1                | 2  | 4 | m3 | 1                      | 2  | 4 | m3 |                          |
| 合計                  | 1                | 1  | 6 | 3  | m3                     | 8  | 4 | 8  | m3                       |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                  |    |   |    | 7                      | 2  | % |    | 柱・梁・桁・土台の70%に地域材を使用      |
| 2                   |                  |    |   |    |                        |    |   |    |                          |
| 合計                  |                  |    |   |    |                        |    |   |    |                          |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                  |    |   |    |                        |    |   |    |                          |
| 下地材 (間柱・内部胴縁・天井野縁)  |                  |    |   |    | 2                      | 3  | 8 | m3 | 下地材は間柱、内部胴縁、天井野縁に使用      |
| 仕上材(カウンター材)         |                  |    |   |    | 1                      | ヶ所 |   |    | 仕上材は1ヶ所以上(床材、壁材、カウンター材等) |
| 合計                  |                  |    |   |    |                        |    |   |    |                          |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                  |    |   |    |                        |    |   |    |                          |

**記入例 6**

**共通ルールの内容**  
下地材は間柱、内部胴縁、天井野縁に使用し、仕上材は1ヶ所以上(床材・壁材・カウンター材等)に使用する。

部位ごとの共通ルールは、この欄に記載してください。共通ルールを確認する計算式を記入してください。

全体の共通ルールはこの欄に記載してください。

共通ルールで定めた部位のうち、対象とした部位を記入してください。

対象とするもの毎に共通ルールを記入してください。

地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるように記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

- (注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。
- (注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。
- (注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

| 在来工法  | 柱      | 梁          | 桁    | 土台    |
|-------|--------|------------|------|-------|
| 2×4工法 | 縦枠、上下枠 | 床根太、端根太 ※1 | 頭つなぎ | 土台 ※2 |

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

- (注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。
  - (注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合**は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
  - (注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合**は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
  - (注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。
- (注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材使用量計画表(在来工法等)

1枚に記載できない場合は、この様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。

地域材使用量計画表（長寿命型 様式4）記入例（4）

地域材使用に関する共通ルール、  
 具体的取り組み内容が確認できるよ  
 う、使用部位、使用量、使用割合を  
 記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式  
 でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位  
 に違いがないが確認してください。

<長寿命型 様式4(在来工法)>

1の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請者記入用】

記入例 7

・対象住宅の建築主

建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**  
 ↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合  
 売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

共通ルールの内容

主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上に地域材を  
 使用する。主要構造材と合わせて構造材全体で80%  
 以上に地域材を使用する。

・地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1,2,3)

| 共通ルールで定めた<br>使用部位 (注4) | 材種 (注5,6,7,8)        |    |    |    |                           |    |    |    | 共通ルールで定めた使用割合、使用量 |                                 |                                 |
|------------------------|----------------------|----|----|----|---------------------------|----|----|----|-------------------|---------------------------------|---------------------------------|
|                        | 対象部位毎の使用量の<br>合計(A)  |    |    |    | 左欄のうち「地域材」に<br>該当する使用量(B) |    |    |    |                   |                                 |                                 |
|                        | 単位                   | 単位 | 単位 | 単位 | 単位                        | 単位 | 単位 | 単位 | 単位                |                                 |                                 |
| 1                      | 柱                    | 3  | 8  | 2  | m3                        | 3  | 8  | 2  | m3                |                                 |                                 |
|                        | 梁・桁                  | 6  | 5  | 7  | m3                        | 3  | 4  | 2  | m3                |                                 |                                 |
|                        | 土台                   | 1  | 2  | 4  | m3                        | 1  | 2  | 4  | m3                |                                 |                                 |
|                        | 合計                   | 1  | 1  | 6  | 3                         | m3 | 8  | 4  | 8                 | m3                              |                                 |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100)    |                      |    |    |    |                           |    |    |    |                   | 7 2 %                           |                                 |
| 2                      | 主要構造材<br>(柱・梁・桁・土台)  | 1  | 1  | 6  | 3                         | m3 | 8  | 4  | 8                 | m3                              | 主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上に地域材を使用する。 |
|                        | 2次部材<br>(母屋・棟木・大引・束) | 6  | 3  | 5  | m3                        | 6  | 3  | 5  | m3                |                                 |                                 |
|                        | 2次部材<br>(間柱・筋交等)     | 2  | 8  | 3  | m3                        | 2  | 8  | 3  | m3                |                                 |                                 |
|                        | 合計                   | 2  | 0  | 8  | 1                         | m3 | 1  | 7  | 6                 | 6                               | m3                              |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100)    |                      |    |    |    |                           |    |    |    |                   | 8 4 %                           |                                 |
| 注5,6,7,8               |                      |    |    |    |                           |    |    |    |                   | 主要構造材とあわせて、構造材全体で80%以上に地域材を使用する |                                 |
| 3                      | 合計                   |    |    |    |                           |    |    |    |                   |                                 |                                 |
|                        | 対象木材の使用割合 (B/A×100)  |    |    |    |                           |    |    |    |                   |                                 | %                               |

前段の共通ルールを記入  
 してください。

共通ルールに応じて集計  
 し、使用割合も算定して  
 ください。

後段の共通ルールを記入  
 してください。

- (注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)
- (注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。
- (注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。
- (注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

| 在来工法  | 柱      | 梁          | 桁    | 土台    |
|-------|--------|------------|------|-------|
| 2×4工法 | 縦柵、上下柵 | 床根太、端根太 ※1 | 頭つなぎ | 土台 ※2 |

- ※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。
- (注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。
- (注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合**は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
- (注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合**は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
- (注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。
- (注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材使用量計画表(在来工法等)

1枚に記載できない場合は、この  
 様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
 【H28】長寿命型と記載されてい  
 る様式を使用してください。

# 地域材供給体制計画表（長寿命型 様式5）記入例

事業者名を記入する際によくある間違い。

- ・「株式会社」の記入漏れ
- ・前(株)、後(株)の誤記
- ・名称の誤記 「木材」と「材木」
- ・新字と旧字の使い分け 「齊」と「齋」、「桜」と「櫻」など
- ・構成員外の事業者名  
→構成員の追加の計画変更の手続きが必要です。  
この場合、交付決定が保留されます。

## <長寿命型 様式5>

1の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

### 地域材供給体制計画表【補助金申請者記入用】

・対象住宅の建築主

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は「,」で区切ってください。  
売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・対象住宅における地域材供給体制計画表

| I. 原木供給 |      | 事業者名  |         | 事業者名 |    |
|---------|------|---|---------|------|----|
| No.     | 変更   | 事業者名  |         | No.  | 変更 |
| a       | I- 1 | 〇〇県森林組合   |         | I-   |    |
|         | I- 4 | ◇◇林業  |         | I-   |    |
|         | I- 2 | 1   | □□県森林組合 | I-   |    |
|         | I-   |   |         | I-   |    |
| b       | ○    | 海外事業者 : 構成員ではない海外の原木供給事業者から供給。(グループの取り組みとして認められている場合に限る。) |         |      |    |
|         |      | その他(理由: )   |         |      |    |

| II. 製材・集成材製造・合板製造 |       | 事業者名   |              | 事業者名 |    |
|-------------------|-------|--|--------------|------|----|
| No.               | 変更    | 事業者名   |              | No.  | 変更 |
| a                 | II- 1 | 有限会社△△製材   |              | II-  |    |
|                   | II- 2 | 1  | ◎◎グループラム株式会社 | II-  |    |
|                   | II- 4 | 株式会社■木材店   |              | II-  |    |
|                   | II-   |  |              | II-  |    |
| b                 |       | 海外事業者 : 構成員ではない海外の製材等事業者から供給。(グループの取り組みとして認められている場合に限る。) |              |      |    |
|                   |       | その他(理由: )  |              |      |    |

この欄に記載する事業者は、グループに登録されている構成員のみです。地域材を扱う事業者のみ記入してください。

| III. 建材(木材)流通 (Ⅷ. 木材を扱わない流通) |        | 事業者名  |  | 事業者名 |    |
|------------------------------|--------|---|--|------|----|
| No.                          | 変更     | 事業者名  |  | No.  | 変更 |
| a                            | III- 1 | 〇〇建材株式会社  |  | III- |    |
|                              | III-   |   |  | III- |    |
|                              | III-   |   |  | III- |    |
| b                            |        | 流通事業者なし : 流通事業者を介さず地域材を調達。                            |  |      |    |
|                              |        | 商流 : 伝票のみを扱う構成員ではない中間流通事業者(木材の加工・梱包等には関与しない流通事業者)を含む。 |  |      |    |
|                              |        | その他(理由: )   |  |      |    |

※ 地域材の供給に、構成員登録を行っている中間流通事業者を含む場合は、「a欄」の事業者名の後に「(商流)」と記入してください。

「商流」の注意事項です。

| IV. プレカット |       | 事業者名   |  | 事業者名 |    |
|-----------|-------|--|--|------|----|
| No.       | 変更    | 事業者名   |  | No.  | 変更 |
| a         | IV- 3 | □□プレカット株式会社(賃加工等)  |  |      |    |
| b         |       | 賃挽き・賃加工 : 賃挽き・賃加工であるため構成員ではないプレカット事業者で行う。                |  |      |    |
|           |       | 自社加工 : 補助金申請者(Ⅶ. 施工)が、自社工場や手刻みにより木材加工を行うためプレカット事業者を含まない。 |  |      |    |
|           |       | その他(理由: )  |  |      |    |

※ 地域材の供給に、構成員登録を行っている賃挽き・賃加工を行うプレカット事業者を含む場合は、「a欄」の事業者名の後に「(賃加工等)」と記入してください。

「賃挽き・賃加工」の注意事項です。

#### <「対象住宅における地域材供給体制計画表」の記載に関する注意事項>

1. 地域材を供給する構成員の事業者名を「a欄」に記入してください。
2. 左側の「No.」欄には「適用申請書」の構成員番号を記入してください。その後、計画変更で名称の変更を行った構成員の場合は、変更の手続きを行った計画変更の時期(回数)を「変更」欄に記入してください。
3. 計画変更で追加した構成員の場合は、計画変更時に提出した「グループ構成員の追加申請」の「No.」を上記の「No.」欄に記入し、追加の手続きを行った計画変更の時期(回数)を「変更」欄に記入してください。(追加後に名称を変更した場合は、その手続きを行った計画変更の時期(回数)を「変更」欄に記入してください。)
4. 一部の業種において構成員を含まず地域材を供給する場合は、その理由を「b欄」から選択し該当する事項に「○」を記入してください。例に無い場合は「その他」を選択し、構成員を含まない理由を記載してください。

グループが採択された認証制度のうち、「地域材」として供給する認証制度において必要かつ有効な登録・認定を受けた事業者による供給がなされていない等、認証制度の要求事項を満たしていない場合は、補助金交付の対象とはなりません。認証制度の要求事項については事前に十分ご確認いただいたうえで、事業者を選定してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】長寿命型 地域材供給体制計画表

適用申請書様式2-2・I～IVの「構成員番号」の番号を記入してください。追加の事業者は、計画変更申請書の追加構成員リストの「NO.」を記入してください。

事業者の追加や、事業者名の変更に関する計画変更を行った場合は、最後に計画変更を行った時期(回数)を記入してください。

「b」欄は、構成員を含まず地域材を供給する場合は「○」を付けてください。「その他」を選択した場合は、構成員を含まない理由を記載してください。

「海外事業者」欄に○を付けることができるグループは、次の全てに該当する場合は、適用申請書(様式2-1)の地域材の産地に「国外」の記載がある場合。  
・適用申請書(様式2-2)の業種区分I～IVの上部の欄に、構成員を含まない理由が記載されている場合。

賃挽き・賃加工を行う構成員のプレカット事業者を含む場合は、事業者名の後に「賃加工等」と記入してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。

# 要件への適合確認書（長寿命型 様式6）記入例

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。  
 具体的取組内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

**<長寿命型 様式6>**

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

## 要件への適合確認書（交付）【補助金申請者記入用】

・対象住宅の建築主

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。  
 売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・採択された要件の確認(1)～【地域材】

| 使用する(予定の)地域材                            | 対象となる地域材の名称 | 地域材の産地 | 認証制度等の名称  |
|---|-------------|--------|-----------|
| ※採択された地域材のうち、対象住宅で使用する(予定)地域材を記入してください。 | 〇〇県産材       | 〇〇県    | 〇〇県産材認証制度 |
|   | △△県産材       | △△県    | △△県産材認証制度 |
|   | 合法木材        | 国内・国外  | 合法木材証明制度  |

↑ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち使用する(予定のもの)を記入してください。 ※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。

・採択された要件の確認(2)～【グループの共通ルール】

| 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み | 共通ルール  |
|--------------------------|--|
| ①地域材利用に関する共通ルール(必須)      | 〇〇県産材、△△県産材及び合法木材証明制度を、主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用する。 |
| ②地域材利用の1棟当たりの割合(必須)      | 50%  |
| ③標準的な地域材の使用部位(必須)        | 主要構造材(土台、柱、梁、桁)、羽柄材に使用する。                    |

適用申請書 様式3-3の「4.地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み」欄に記載の共通ルールを記入してください。

・グループ事務局の確認

今回、補助金交付申請を行う対象建築物について、採択要件(共通ルール)に適合していることを確認いたしました。

| グループ事務局担当者名 | 確認欄 | 申請事業者代表者名 | 確認欄 |
|-------------|-----|-----------|-----|
| 優良 二郎       | ○   | 長持 住夫     | ○   |

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認欄に「○」を記入して下さい。

・対象住宅の要件の確認～【住宅の省エネルギー技術に関する講習】

|                                     |              |                  |
|-------------------------------------|--------------|------------------|
| 対象住宅に関わる講習会の修了(予定)者の区分 (次のいずれかに「○」) |              |                  |
| ○ (1) 対象住宅の施工者                      | (2) 対象住宅の設計者 | ○ (3) 対象住宅の工事監理者 |

注 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【様式3】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

適用申請書様式2-1 A欄に記載した地域材の名称、産地を正確に記入してください。

適用申請書様式3-3の「具体的取組内容」欄と同じように記入してください。記入箇所違い、誤記、具体的取組内容以外の記載等の間違いが多いので注意してください。

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認者と確認欄に「○」を記入してください。

省エネ講習会の修了者、または修了予定者が対象住宅に関わる区分に○を付けてください。区分が決まっていな場合は、関わる予定の区分に○を付けてください。

使用する様式は正しいですか。  
**【H28】長寿命型**と記載されている様式を使用してください。3

【H28】長寿命型 要件への適合確認書(交付)



要件への適合確認書（長寿命型 様式6(三世代)）記入例

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。  
 具体的取組み内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

**<長寿命型 様式6(三世代)>**

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅について申請する場合はシートを追加して作成してください。

### 要件への適合確認書(交付)【補助金申請者記入用】

・対象住宅の建築主

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「,」で区切ってください。  
 売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・採択された要件の確認(1)～【地域材】

| 使用する(予定の)地域材 | 対象となる地域材の名称 | 地域材の産地 | 認証制度等の名称  |
|--------------|-------------|--------|-----------|
|              | 〇〇県産材       | 〇〇県    | 〇〇県産材認証制度 |
|              | △△県産材       | △△県    | △△県産材認証制度 |
|              | 合法木材        | 国内・国外  | 合法木材証明制度  |

※採択された地域材のうち、対象住宅で使用する(予定の)地域材を記入してください。

↑ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち使用する(予定のもの)を記入してください。 ※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。

・採択された要件の確認(2)～【グループの共通ルール】

| 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み | 共通ルール  |
|--------------------------|--|
| ①地域材利用に関する共通ルール(必須)      | 〇〇県産材、△△県産材及び合法木材証明制度を、主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用する。 |
| ②地域材利用の1棟当たりの割合(必須)      | 50%  |
| ③標準的な地域材の使用部位(必須)        | 主要構造材(土台、柱、梁、桁)、羽柄材に使用する。                    |

適用申請書 様式3-3の「4.地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み」欄に記載の共通ルールを記入してください。

・グループ事務局の確認

今回、補助金交付申請を行う対象建築物について、採択要件(共通ルール)に適合していることを確認いたしました。

| グループ事務局担当者名 | 確認欄 | 申請事業者代表者名 | 確認欄 |
|-------------|-----|-----------|-----|
| 優良 二郎       | ○   | 長持 住夫     | ○   |

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認欄に「○」を記入して下さい。

・三世代同居対応住宅の要件の確認

| 調理室 | 浴室 | 便所 | 玄関 |
|-----|----|----|----|
| 1   | 1  | 3  | 2  |

対象住宅に設置する個数を記入して下さい。↑

三世代同居対応住宅の要件については、上記の通りであることを証明します。

資格 ( 1級 ) 建築士 ( 建設大臣 ) 登録 第 999999 号 氏名 ▲岡 ●郎 ▲岡

・対象住宅の要件の確認～【住宅の省エネルギー技術に関する講習】

|                                     |              |                |
|-------------------------------------|--------------|----------------|
| 対象住宅に関わる講習会の修了(予定)者の区分 (次のいずれかに「○」) |              |                |
| ○ (1) 対象住宅の施工者                      | (2) 対象住宅の設計者 | (3) 対象住宅の工事監理者 |

※1 同等の講習会かどうか不明な場合はお問合せください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 要件への適合確認書(交付)(三世代)

【様式3】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

適用申請書様式2-1 A欄に記載した地域材の名称、産地を正確に記入してください。

適用申請書様式3-3の「具体的取組内容」欄と同じように記入してください。記入箇所違い、誤記、具体的取組内容以外の記載、等の間違いが多いので注意してください。

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認者と確認欄に「○」を記入してください。

三世代同居対応住宅の対象とする設備等の各設置個数を記入して下さい。

三世代同居対応住宅の要件の確認を行った建築士の資格情報等の記入、捺印をして下さい。

省エネ講習会の修了者、または修了予定者が対象住宅に関わる区分に○を付けてください。区分が決まっていない場合は、関わる予定の区分に○を付けてください。

使用する様式は正しいですか。  
 【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。

要件への適合確認書（長寿命型 様式7）記入例

提出は原本です。

この様式は委任状による訂正はできません。

<長寿命型 様式7>

請負契約による住宅のみ提出

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上を対象住宅について申請する場合はシートを追加して作成してください。

長期優良住宅の認定を受ける予定であることの誓約書

地名地番です。住居表示ではありません。大字、字等の記入漏れがないよう確認し、【様式3】の「建設予定地」と整合していることを確認してください。

地域型住宅グリーン化事業の補助金交付申請を行う以下の住宅について、長期優良住宅建築等計画の認定済み、あるいは、今後、認定を受けることに間違いありません。  
また、長期優良住宅建築等計画の認定を受けることができなかった場合において、交付決定が取り消されることについて、一切異議を申し立てません。

平成 28 年 7 月 2 日

<建設予定地>

|                          |
|--------------------------|
| 建設予定地の地名地番               |
| 東京都新宿区△△町305番地、305番地9の一部 |

↑ 様式3(長寿命)に記入した建設地の地名地番と同じです。住居表示ではありませんのでご注意ください。都道府県名より記入し、大字、字等の記入漏れが無いようご注意ください。

補助金申請者及び建築主が、上記事項に誓約した日付を記入してください。採択日以降の日付です。

<補助金申請者記入欄>

|           |      |
|-----------|------|
| 補助金申請事業者名 | 代表者印 |
| 株式会社〇〇工務店 |      |
| 代表者名      |      |
| 長持 住夫     |      |

会社の代表印です。名字のみの個人印ではありません。

様式2と同じ印鑑を押印してください ↑

工事請負契約書と同じ印を使用してください。

<対象住宅の建築主>

|       |      |
|-------|------|
| 建築主氏名 | 建築主印 |
| ◆田 ■郎 |      |
| ◆田 ●子 |      |

工事請負契約書と同じ印鑑を押印してください ↑

連名の場合は、両者の印を押印してください。両者の印が逆にならないように注意してください。

- ※ 本誓約書の提出をもって長期優良住宅建築等計画の認定がなされるものではありませんのでご注意ください。
- ※ 長期優良住宅建築等計画の認定の詳細につきましては、建設地の所管行政庁にお問い合わせください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 長期優良住宅の認定を受ける予定であることの誓約書

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。

実績報告書（長寿命型 様式9）記入例

補助金申請者の概要欄は、適用申請書<様式2-2・VI-1>に記載した事項と相違ないか確認してください。相違、変更がある場合は、計画変更の手続きを行ってください。

支援室から補助事業者へ送付する交付決定通知書に記載されている事業者番号「O4 00## ● \*\* ¥¥¥¥」を記入してください。●：B 又は T。

実績報告を提出する受付時期を記入してください。

**<長寿命型 様式9>**

↓アルファベット(B又はT)がこの欄になります。実績報告の受付時期

|   |                             |       |
|---|-----------------------------|-------|
| 事業者番号   | 0 4 9 9 9 9 B 1 3 4 9 6 8 0 | 第 3 回 |
| ↑「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。提出する時期を記入してください。↑ |                             |       |
| 報告日:  | 平成 29 年 2 月 25 日            |       |
| ↑グループ事務局代提出する日を記入してください。                          |                             |       |

地域型住宅グリーン化事業実施支援室 殿

### 実績報告書【補助事業者記入用】


交付決定を受けた「地域型住宅グリーン化事業」について、実績報告を行う対象住宅が、補助対象となる住宅の要件や、採択された要件（共通ルール、地域材の認証制度として有効なグループ構成員による供給等）等、地域型住宅グリーン化事業に必要な事項に適合していることを確認し、実績報告書及び添付書類一式が事実と相違ないことを確認の上、実績報告書及び添付書類一式を提出します。

万一、採択要件、補助金交付規程、手続きマニュアル及びその他法令に違反する行為がなされた場合、あるいは実績報告時の検査等において採択要件を満足していないことが判明した場合は、補助金の返還に応じることをご確認いたします。

・補助事業者の概要

|      |           |  |  |
|------|-----------|--|--|
| 事業者名 | 株式会社〇〇工務店 |  |  |
| 代表者名 | 長持 住夫     |  |  |
| 担当者名 | 長持 花子     |  |  |

代表者印



↑「補助金交付申請書」↑で使用了印を押印してください。(本社の代表印)

|   |     |      |      |
|---|-----|------|------|
| 電話番号                                    | 03  | 2222 | 55** |
| FAX番号                                   | 03  | 2222 | 66** |
| ↑ 市外局番から記入してください。                       |     |      |      |
| 緊急連絡先                                   | 080 | 5555 | 33** |
| ↑ 緊急連絡先は、携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入してください。 |     |      |      |

|  |   |
|--|---|
| <p>・補助申請額（総額、消費税抜き）</p> <p style="text-align: center;">1,100,000 円</p> <p>↑ 今日報告する補助申請額の総額を記入してください。</p> | <p>・事業完了戸数</p> <p style="text-align: center;">1 戸</p> <p>↑ 今日報告する対象住宅の総戸数を記入してください。</p> |
|--|---|

記入事項に間違いがある場合、入金に時間を要する場合がありますのでご注意ください。

・補助金の振込先 ↓同一グループかつ同一申請窓口で初回の実績報告のみ記入してください。

|                        |                           |  |       |
|------------------------|---------------------------|--|-------|
| 金融機関名<br>(全てカタカナで記入)   | ダイホンギンコウ                  |  |       |
| 支店名<br>(全てカタカナで記入)     | カグラザカ                     |  |       |
| 銀行番号                   | 9 9 9 9                   | 支店コード  | 9 9 9 |
| 本人口座名義<br>(全てカタカナで記入)  | カブシキガイシャマルマウコムテン ナガモチ スミオ |  |       |
| ↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けてください。 |                           |  |       |
| 口座番号                   | 9 0 9 9 9                 | <input type="checkbox"/> 同一グループかつ同一申請窓口で2回目以降の報告 |       |
| ↑ 右詰で記入してください。         |                           |  |       |

(注) この報告書は、1回の実績報告において1の申請窓口につき正副各1枚となります。1の申請窓口複数の対象住宅がある場合は、1の申請窓口毎に補助申請額や事業完了戸数の合計を記入し提出してください。

同じグループかつ同じ申請窓口において、今回の実績報告を行う対象住宅の合計を記入してください。

様式10の事業完了日以降の日付であることを確認してください。

交付申請時に使用した印と同じ印を使用してください。

事業者名義の口座としてください。

同じグループかつ同じ申請窓口で、2回目以降の実績報告からは、振込先の記入は不要ですが、その際は、ここにチェックを付けてください。

この様式は1つの申請窓口で正副各1枚です。申請窓口が複数になる場合は、申請窓口の数だけ作成してください。  
※同じ報告時期、同じ申請窓口で、複数の住宅を報告する場合であっても、1つの申請窓口で正副各1枚です。

【H28】長寿命型 実績報告書

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

# 対象住宅の建設報告（長寿命型 様式10）記入例

支援室から補助事業者へ送付する交付決定通知書に記載されている対象住宅番号のうち、B又はTのアルファベットから下の番号「●\*\* ¥¥¥¥#####」を記入してください。  
●：B又はT。

交付申請を行った時期（第1期→1、第2期→2・・・）を記入してください。

**<長寿命型 様式10>**

対象住宅番号 **B 1 3 4 9 6 8 0 1 3 1 5** 「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。

↑アルファベット(B又はT)がこの欄になります。

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

### 対象住宅の建設報告【補助事業者記入用】

・交付申請時の実施枠  ① 補助金の活用実績のない施工業者による実施枠  ② 施工業者に制限を設けない実施枠  
↑ 該当する欄に「○」を付けてください。

・契約形態  請負契約による住宅（交付申請時は契約締結済）  売買契約による住宅  
↑ 該当する欄に「○」を付けてください。

・対象住宅の交付申請の受付時期 **第 1 期**  
↑ 実績報告を行う住宅の交付申請を記入してください。

建設地の地名地番 **東京都新宿区△△町305番1、305番9の一部**  
↑ 住居表示ではありません。検査済証等に記載されている地名地番を都道府県名、大字、字等の記入漏れが無いようご注意ください。

対象住宅の建築主（売買契約による場合は買主）  
建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**  
↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。

| 補助対象となる経費の内訳  |            | 金額欄                 | 備考             |
|---|------------|---------------------|----------------|
| ①補助対象工事費（消費税抜き）   |            | <b>24,420,000</b> 円 |                |
| 内訳  | 主体工事費      | <b>21,600,000</b> 円 |                |
|   | 屋内電気設備工事費  | <b>1,800,000</b> 円  |                |
|   | 屋内ガス設備工事費  | <b>0</b> 円          | オール電化のためガス工事なし |
|   | 屋内給排水設備工事費 | <b>1,020,000</b> 円  |                |
| ②交付決定額  |            | <b>1,100,000</b> 円  | 補助額100万円～150万円 |
| 通常(100万円) <input checked="" type="checkbox"/> <b>加算</b> 三世帯(30万円) <input type="checkbox"/> 、地域材 (10万円) <input checked="" type="checkbox"/> or (20万円) <input type="checkbox"/> |            |                     |                |
| ③補助申請額  |            | <b>1,100,000</b> 円  | ①×0.1と②の低い方    |

※エクセルの様式では、工事費内訳を記入すると、①補助対象工事費欄に合計が表示されます。また、補助限度額の通常欄及び加算欄で「○」を選定すると②補助限度額の合計が表示されます。

工事費が「0円」の場合は理由を記入してください。

計算式が入っていますので合計が表示されます。

「○」を選択すると、補助限度額が計算されます。

2月30日、9月31日等、実在しない日を記入しないよう注意してください。

年の記入違いが多いです。工期を確認のうえ記入してください。

実際の日付を記入してください。事業完了日は、検査済証の交付日以降の日付となります。

確認申請書等に記載されている、駐車場等の面積を除いた住宅部分のみの面積を記入してください。共同住宅、長屋等の場合は、1戸あたりの面積を記入してください。

確認申請を要する建築物でも、いずれかに○を付けてください。確認申請が不要な建築物の場合は、「住宅瑕疵担保責任保険の保険証券又は保険付保証書の写し」の提出が必要です。

使用する様式は正しいですか。【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

地階がある場合は、地階を含めた建物全体の階数を記入してください。混構造の場合も、建物全体の階数を記入してください。

「高」と「高」「崎」と「崎」等建築主の氏名が交付申請時と相違が無いか確認してください。

検査済証等に記載されている地名地番です。都道府県名から記入してください。区画整理の場合は、区画整理事業名、街区番号も記入してください。

補助対象外の工事費を除いた金額（税抜き）です。工事請負契約の金額以下となります。※手続きマニュアル「3-2 木造住宅の補助対象となる経費」

工事費が「0円」の場合は理由を記入してください。

「○」を選択すると、補助限度額が計算されます。

計算式が入っていますので合計が表示されます。

2月30日、9月31日等、実在しない日を記入しないよう注意してください。

適用申請書 様式2-1のA欄に記載の認証制度等のうち、使用した認証制度等の名称を記入してください。

年の記入違いが多いです。工期を確認のうえ記入してください。

認証制度等の名称は正確に記入してください。【様式13,14】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

実際の日付を記入してください。事業完了日は、検査済証の交付日以降の日付となります。

確認申請書等に記載されている、駐車場等の面積を除いた住宅部分のみの面積を記入してください。共同住宅、長屋等の場合は、1戸あたりの面積を記入してください。

使用する様式は正しいですか。【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

地階がある場合は、地階を含めた建物全体の階数を記入してください。混構造の場合も、建物全体の階数を記入してください。

# 対象住宅の写真（長寿命型 様式11）記入例

支援室から補助事業者へ送付する交付決定通知書に記載されている対象住宅番号のうち、B又はTのアルファベットから下の番号「●●\*\* ¥¥¥¥###」を記入してください。  
●：B又はT。

写真については、デジタル写真をこのExcelのシートに貼り付け印刷したものと、この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。

**<長寿命型 様式11>**

|        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象住宅番号 | B | 1 | 3 | 4 | 9 | 6 | 8 | 0 | 1 | 3 | 1 | 5 |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

↑アルファベット(B又はT)がこの欄になります。

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。

## 対象住宅の写真【補助事業者用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は「,」で区切ってください。  
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

次 の 事 項 に 注 意 し て く だ さ い。

- ・ **施工中の写真でないこと**
- ・ **棟木から地面まで**写っていること
- ・ **壁面の端から端まで**一面以上写っていること  
→ 1枚で全景が写り込まない場合は、写真を小さくし複数枚の写真データを貼り付けてください。

(写真データ貼付)

- ・ **外観の写真は竣工後のもの**とし、1面以上の写真データを貼り付けてください。
- ・ **住宅全体がわかるように撮影**したものとしてください。

次 の 事 項 に 注 意 し て く だ さ い。

- ・ **施工中の写真でないこと**
- ・ **床面及び天井面が写り込む**程度であること
- ・ 狭小部分の写真でないこと

(写真データ貼付)

- ・ **内観の写真は竣工後のもの**とし、1面以上の写真データを貼り付けてください。
- ・ **リビング等の主な居室(1室)の全景がわかるように撮影**したものとしてください。

(注1) 写真については、デジタル写真をこのExcelのシートに貼り付け印刷したものと、この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。  
(注2) 外観及び内観の写真は竣工後のものとし、各1面以上貼り付けてください。  
(注3) 外観については、建築物全体がわかるように撮影したものを貼り付けてください。  
(注4) 内観については、リビング等の主な居室(1室)の全景がわかるように撮影したものを貼り付けてください。

**※本様式のCD-R(電子ファイルを格納したもの)も提出してください。(1部)**

【H28】長寿命型 対象住宅の写真

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。

# グループの特徴を現した写真（長寿命型 様式12）記入例

支援室から補助事業者に送付する交付決定通知書に記載されている対象住宅番号のうち、B又はTのアルファベットから下の番号「●\*\* ¥¥¥¥######」を記入してください。  
●：B又はT。

写真については、デジタル写真をこのExcelのシートに貼り付け印刷したものと、この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。

**<長寿命型 様式12>**

|                  |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------------------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| <b>様式12(長寿命)</b> | 対象住宅番号 | B | 1 | 3 | 4 | 9 | 6 | 8 | 0 | 1 | 3 | 1 | 5 |
|------------------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

↑アルファベット(B又はT)がこの欄になります。  
↑「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

## グループの特徴を現した写真【補助事業者用】

- ・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。  
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

- ・グループの取り組みに対する特徴が現れた部分の写真  
伝統的素材(畳、瓦、襖等)の活用や、地域の住文化・伝統的な景観に寄与した住宅、和の住まいの推進に関して取組を行った住宅等、グループの取り組みに対する特徴が現れた部分がありましたら、積極的に写真のご提出をお願いします。

|           |  |
|-----------|--|
| (写真データ貼付) | <p style="text-align: center; font-size: small;">コメント欄</p> <p style="color: green;">街並みの景観にあった、地域の〇〇瓦を使用</p> |
|-----------|--|

貼付した写真の特徴についての解説を記入してください。

|         |    |
|---------|----|
| 撮影対象物名称 | 屋根 |
|---------|----|

|           |  |
|-----------|--|
| (写真データ貼付) | <p style="text-align: center; font-size: small;">コメント欄</p> <p style="color: green;">地域材を用いた造作家具(玄関脇下足入)を作成</p> |
|-----------|--|

対象となる写真の名称を記入して下さい。

|         |         |
|---------|---------|
| 撮影対象物名称 | 玄関(下足入) |
|---------|---------|

(注1)写真については、デジタル写真をこのExcelのシートに貼り付け印刷したものと、この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。  
(注2)コメント欄については、特徴についての解説を記入して下さい。

※本様式のCD-R(電子ファイルを格納したもの)も提出してください。(1部)

【H28】長寿命型 対象住宅の写真

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

地域材使用量実績表（長寿命型 様式13(在来工法等)）記入例（1）

交付申請時と同じ形式で記入してください。地域材の使用量、使用割合は、添付した納品書、木材の証明書を元に計算してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

<長寿命型 様式13(在来工法等)>

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量実績表【補助事業者記入用】

記入例 1

対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」  
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

共通ルールの内容  
主要構造材(柱、梁桁、土台)の過半にグループ指定

地域材を利用する部材の使用量実績表

| 共通ルールで定めた使用部位       | 材積              |   |    |                       | 左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B) |    |                   |                           | 共通ルールで定めた使用割合、使用量 |
|---------------------|-----------------|---|----|-----------------------|-----------------------|----|-------------------|---------------------------|-------------------|
|                     | 対象部位毎の使用量の合計(A) |   | 単位 | 左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B) |                       | 単位 | 共通ルールで定めた使用割合、使用量 |                           |                   |
| 柱                   | 3               | 6 | 1  | m3                    | 3                     | 2  | 6                 | m3                        |                   |
| 梁・桁                 | 6               | 4 | 8  | m3                    | 3                     | 6  | 6                 | m3                        |                   |
| 桁                   | 1               | 2 | 4  | m3                    | 0                     | 0  | 0                 | m3                        |                   |
| 合計                  | 1               | 1 | 3  | m3                    | 6                     | 9  | 2                 | m3                        |                   |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                 |   |    |                       | 6                     | 1  | %                 | 主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に地域材を使用 |                   |

共通ルールに応じて単位を記入してください。

共通ルールを記入してください。

共通ルールや対象部位の集計方法に応じて部位名を修正してください。  
・「梁」と「桁」を → 「梁・桁」に修正  
・「柱」と「土台」だけに修正  
など

「0m」であっても「0」と単位の「m」を記入してください。

共通ルールで使用割合を定めている場合は、使用割合(%)を記入してください。  
小数点以下は切捨てです。

小数点はこの位置。

小数点はこの位置。

記入例 2

共通ルールの内容  
仕上材に地域材を10m2以上使用する。

|                     |  |  |  |  |   |   |   |   |    |                  |
|---------------------|--|--|--|--|---|---|---|---|----|------------------|
| 合計                  |  |  |  |  | 1 | 3 | 5 | 4 | m2 |                  |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |  |  |  |  | 1 | 3 | 5 | 4 | m2 |                  |
| 仕上材                 |  |  |  |  | 1 | 3 | 5 | 4 | m2 | 仕上材に地機材を10m2以上使用 |
| 合計                  |  |  |  |  | 1 | 3 | 5 | 4 | m2 |                  |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |  |  |  |  | 1 | 3 | 5 | 4 | m2 |                  |

共通ルールの「仕上材」を記入。

共通ルールに応じて単位を記入してください。

使用割合を共通ルールで定めていない場合は記入不要です。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。また、交付申請時と同じ形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください)  
(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容によう集計し記入してください。  
(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。  
(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

| 在来工法  | 柱      | 梁          | 桁    | 土台    |
|-------|--------|------------|------|-------|
| 2×4工法 | 縦柵、上下柵 | 床根太、端根太 ※1 | 頭つなぎ | 土台 ※2 |

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。  
(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。  
(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合は**、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。  
(注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合は**、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。  
(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。  
(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】長寿命型 地域材使用量実績表(在来工法等)

1枚に記載できない場合は、この様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

地域材使用量実績表（長寿命型 様式13(在来工法等)）記入例（2）

交付申請時と同じ形式で記入してください。地域材の使用量、使用割合は、添付した納品書、木材の証明書を元に計算してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

**<長寿命型 様式13(在来工法等)>**

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

### 地域材使用量実績表【補助事業者記入用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は、売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

・地域材を利用する部材の使用量実績表

| 共通ルールで定めた使用部位 | 材種                  |   |    |                       | 共通ルールで定めた使用割合、使用量 |    |   |   |    |                       |  |
|---------------|---------------------|---|----|-----------------------|-------------------|----|---|---|----|-----------------------|--|
|               | 対象部位毎の使用量の合計(A)     |   | 単位 | 左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B) |                   | 単位 |   |   |    |                       |  |
| 1             | 母屋                  | 1 | 0  | 2                     | m3                | 1  | 0 | 2 | m3 |                       |  |
|               | 棟木                  | 0 | 3  | 4                     | m3                | 0  | 3 | 4 | m3 |                       |  |
|               | 垂木                  | 1 | 2  | 4                     | m3                | 1  | 2 | 4 | m3 |                       |  |
|               | 間柱                  | 1 | 4  | 8                     | m3                | 1  | 4 | 8 | m3 |                       |  |
|               | 合計                  | 4 | 1  | 6                     | m3                | 4  | 1 | 6 | m3 |                       |  |
|               | 対象木材の使用割合 (B/A×100) |   |    |                       |                   | 1  | 0 | 0 | %  | 母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用 |  |
| 3             | 構造材(柱・梁・桁・土台)       |   |    |                       |                   | 9  | 8 | 6 | m3 |                       |  |
|               | 2次部材 (母屋・棟木・大引・束)   |   |    |                       |                   | 4  | 3 | 5 | m3 |                       |  |
|               | 羽柄材(根太・垂木)          |   |    |                       |                   | 0  | 5 | 0 | m3 |                       |  |
|               | 仕上材(床材)             |   |    |                       |                   | 3  | 3 | 1 | m3 |                       |  |
|               | 合計                  |   |    |                       |                   | 1  | 8 | 0 | 2  | m3                    | 延べ床面積 123.32㎡<br>123.32㎡×0.12㎡/㎡=14.79㎡<18.02㎡ ∴OK |
|               | 対象木材の使用割合 (B/A×100) |   |    |                       |                   |    |   |   | %  |                       |  |

**共通ルール 3**

共通ルールの内容  
母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用する。

**共通ルール 4**

共通ルールの内容  
延べ床面積1m2あたり0.12m3以上の地域材を使用する。

共通ルールでは部位を指定していないが、対象とした部位を記入してください。

共通ルールの適合が確認できるように計算式を記入してください。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるように記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。また、交付申請時と同じ形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

|       |        |           |      |      |
|-------|--------|-----------|------|------|
| 在来工法  | 柱      | 梁         | 桁    | 土台   |
| 2×4工法 | 縦枿、上下枿 | 床根太、端根太※1 | 頭つなぎ | 土台※2 |

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合は**、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「Om3以上使用する」等、**使用量を定めている場合は**、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材使用量実績表(在来工法等)

1枚に記載できない場合は、この様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。



地域材使用量実績表（長寿命型 様式13(在来工法等)）記入例（3）

交付申請時と同じ形式で記入してください。地域材の使用量、使用割合は、添付した納品書、木材の証明書を元に計算してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

**<長寿命型 様式13(在来工法等)>**

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

**地域材使用量実績表【補助事業者記入用】**

記入例 5

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」を、売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

・地域材を利用する部材の使用量実績表

| 共通ルールで定めた使用部位       | 材種              |   |    |    | 左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B) |   |    |    | 注                        |
|---------------------|-----------------|---|----|----|-----------------------|---|----|----|--------------------------|
|                     | 対象部位毎の使用量の合計(A) |   | 単位 |    | 合計                    |   | 単位 |    |                          |
| 母屋                  | 1               | 0 | 2  | m3 | 1                     | 0 | 2  | m3 | 杉を100%使用                 |
| 棟木                  | 0               | 3 | 4  | m3 | 0                     | 3 | 4  | m3 | 3.42/6.57=52% ≥ 50%      |
| 垂木                  | 1               | 2 | 4  | m3 | 1                     | 2 | 4  | m3 |                          |
| 間柱                  | 1               | 4 | 8  | m3 | 1                     | 4 | 8  | m3 |                          |
| 合計                  | 4               | 1 | 6  | m3 | 4                     | 1 | 6  | m3 |                          |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                 |   |    |    | 1                     | 0 | 0  | %  | 母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用    |
|                     |                 |   |    |    |                       |   |    |    |                          |
| 2                   |                 |   |    |    |                       |   |    |    |                          |
| 合計                  |                 |   |    |    |                       |   |    | %  |                          |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                 |   |    |    |                       |   |    | %  |                          |
|                     |                 |   |    |    |                       |   |    |    |                          |
| 下地材 (間柱・内部胴縁・天井野縁)  |                 |   |    |    | 2                     | 3 | 8  | m3 | 下地材は間柱、内部胴縁、天井野縁に使用      |
| 仕上材(カウンター材)         |                 |   |    |    | 1                     |   |    | ヶ所 | 仕上材は1ヶ所以上(床材・壁材・カウンター材等) |
| 合計                  |                 |   |    |    |                       |   |    |    |                          |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                 |   |    |    |                       |   |    | %  |                          |

記入例 6

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。また、交付申請時と同じ形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

|       |        |           |      |      |
|-------|--------|-----------|------|------|
| 在来工法  | 柱      | 梁         | 桁    | 土台   |
| 2×4工法 | 縦枿、上下枿 | 床根太、端根太※1 | 頭つなぎ | 土台※2 |

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合は**、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「Om3以上使用する」等、**使用量を定めている場合は**、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材使用量実績表(在来工法等)

共通ルールで定めた部位のうち、対象とした部位を記入してください。

部位ごとの共通ルールは、この欄に記載してください。共通ルールを確認する計算式を記入してください。

全体の共通ルールはこの欄に記入してください。

共通ルールを記入してください。

1枚に記載できない場合は、この様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

地域材使用量実績表（長寿命型 様式13(在来工法等)）記入例（4）

交付申請時と同じ形式で記入してください。地域材の使用量、使用割合は、添付した納品書、木材の証明書を元に計算してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

**<長寿命型 様式13(在来工法等)>**

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

**地域材使用量実績表【補助事業者記入用】**

**記入例 7**

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は、売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください

・地域材を利用する部材の使用量実績表

| 共通ルールで定めた使用部位       | 材種                  |         |                       |         | 共通ルールで定めた使用割合、使用量 |    |     |                                 |  |
|---------------------|---------------------|---------|-----------------------|---------|-------------------|----|-----|---------------------------------|--|
|                     | 対象部位毎の使用量の合計(A)     |         | 左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B) |         | 共通ルールで定めた使用割合     |    | 使用量 |                                 |  |
|                     | 合計                  | 単位      | 合計                    | 単位      | 割合                | 単位 | 使用量 | 単位                              |  |
| 1                   | 柱                   | 3 5 4   | m3                    | 3 4 2   |                   |    |     |                                 |  |
|                     | 梁・桁                 | 6 6 8   | m3                    | 4 8 6   |                   |    |     |                                 |  |
|                     | 土台                  | 1 2 4   | m3                    | 0 0 0   |                   |    |     |                                 |  |
|                     | 合計                  | 1 1 4 6 | m3                    | 8 2 8   |                   |    |     |                                 |  |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                     |         |                       | 7 2     |                   | %  |     | 主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上に地域材を使用する。 |  |
| 2                   | 主要構造材(柱・梁・桁・土台)     | 1 1 4 6 | m3                    | 8 2 8   |                   |    |     |                                 |  |
|                     | 2次部材(母屋・横木・大引・束)    | 5 9 3   | m3                    | 5 9 3   |                   |    |     |                                 |  |
|                     | 2次部材(間柱・筋交等)        | 2 8 3   | m3                    | 2 8 3   |                   |    |     |                                 |  |
|                     | 合計                  | 2 0 2 7 | m3                    | 1 7 0 4 |                   |    |     |                                 |  |
| 対象木材の使用割合 (B/A×100) |                     |         |                       | 8 4     |                   | %  |     | 主要構造材とあわせて、構造材全体で80%以上に地域材を使用する |  |
| 3                   |                     |         |                       |         |                   |    |     |                                 |  |
|                     |                     |         |                       |         |                   |    |     |                                 |  |
|                     |                     |         |                       |         |                   |    |     |                                 |  |
|                     | 対象木材の使用割合 (B/A×100) |         |                       |         |                   | %  |     |                                 |  |

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。また、交付申請時と同じ形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

|       |        |           |      |      |
|-------|--------|-----------|------|------|
| 在来工法  | 柱      | 梁         | 桁    | 土台   |
| 2×4工法 | 縦枿、上下枿 | 床根太、端根太※1 | 頭つなぎ | 土台※2 |

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合は**、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「0m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合は**、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材使用量実績表(在来工法等)

前段の共通ルールを記入してください。

共通ルールに応じて集計し、使用割合も算定してください。

後段の共通ルールを記入してください。

1枚に記載できない場合は、この様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

# 地域材供給体制実績表（長寿命型 様式14）記入例（1）

記入例 1

<長寿命型 様式14>

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上を対象住宅について報告する場合はシートを追加して作成してください。

## 地域材供給体制実績表【補助事業者記入用】

・対象住宅の建築主（売買契約による場合は買主）

建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「/」で区切ってください。売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

### 対象住宅における地域材供給体制実績表

| 認証制度等の名称   | 〇〇県産材認証制度     |        | 合法木材証明制度  |        | ③             |        |
|--|---------------|--------|---|--------|---------------|--------|
|  | 原木供給          | No. 変更 | 原木供給  | No. 変更 | 原木供給          | No. 変更 |
| 地域材供給事業者名  | 〇〇県森林組合       | 1      | 海外（構成員外）  |        |               |        |
| ※使用した地域材の供給に携わった事業者について、供給経路毎に、原木供給事業者を起点として上から順に記入してください。 | 製材・集成材製造・合板製造 | No. 変更 | 製材・集成材製造・合板製造   | No. 変更 | 製材・集成材製造・合板製造 | No. 変更 |
|  | 有限会社△△製材      | 1      | 株式会社■■■木材店  | 4      |               |        |
| ※製材等事業者以降で木材の供給経路が異なる場合は、列を分けて事業者名を記入                      | 流通            | No. 変更 | 流通  | No. 変更 |               |        |
|  | △△木材株式会社      | 4      | △△木材株式会社  | 4      |               |        |
|  | プレカット         | No. 変更 | プレカット   | No. 変更 |               |        |
|  | □□プレカット株式会社   | 3      | □□プレカット株式会社   | 3      |               |        |
|  |               | No. 変更 |   | No. 変更 |               |        |
|  |               | No. 変更 |   | No. 変更 |               |        |
|  |               | No. 変更 |   | No. 変更 |               |        |
| 補助事業者（施工者）   | 株式会社〇〇工務店     |        | ※下記に該当する場合は□にチェックを付けてください。<br><input type="checkbox"/> 自社加工 補助事業者（VI.施工）において、自社工場や手刻み等により木材加工を行うためプレカットを含まない。 |        |               |        |

地域材を実際に供給した事業者を記載してください。交付申請時と異なっても結構です。

【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

認証制度毎に分けて供給体制を記入してください。

構成員以外の海外事業者により供給した場合。

（適用申請書に海外事業者のため構成員登録できない旨の記載がある場合）

一番下に記載する事業者が、施工業者に出荷した**最終出荷者**となるよう記入してください。

適用申請書様式2-2・I～IVの「**構成員番号**」の番号を記入してください。追加の事業者は、計画変更申請書の追加構成員リストの「NO.」を記入してください。

『「対象住宅における地域材供給体制実績表」の記載に関する注意事項』を参照のうえ上記の表を作成してください。

事業者の追加や、事業者名の変更に関する計画変更を行った場合は、最後に**計画変更を行った時期（回数）**を記入してください。

※紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材供給体制実績表

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

記入例 2

＜長寿命型 様式14＞

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上を対象住宅について報告する場合はシートを追加して作成してください。

地域材供給体制実績表【補助事業者記入用】

対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「,」で区切ってください。  
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

対象住宅における地域材供給体制実績表

| 認証制度等の名称   | ① ○○県産材認証制度             | ② 合法木材証明制度   | ③                       |
|------------|-------------------------|--|-------------------------|
| 地域材供給事業者名  | 原木供給<br>No. 変更          | 原木供給<br>No. 変更   | 原木供給<br>No. 変更          |
|            | □□木材市場 3<br>××林業株式会社 5  | □□県森林組合 2  |                         |
|            | 製材・集成材製造・合板製造<br>No. 変更 | 製材・集成材製造・合板製造<br>No. 変更  | 製材・集成材製造・合板製造<br>No. 変更 |
|            | ××グルーラム株式会社 8           | 株式会社■木材店 4   |                         |
|            | 流通<br>No. 変更            | 流通<br>No. 変更   | 流通<br>No. 変更            |
|            | 株式会社○○建材 1              | △△木材株式会社 4   |                         |
|            | プレカット<br>No. 変更         | プレカット<br>No. 変更  | プレカット<br>No. 変更         |
|            | □□プレカット株式会社 3           |  |                         |
|            | 流通<br>No. 変更            | 流通<br>No. 変更   | 流通<br>No. 変更            |
|            | △△木材株式会社 4              |  |                         |
|            | △△木材株式会社 4              |  |                         |
|            | 主要構造材の事業者               | 主要構造材以外の事業者  |                         |
| 補助事業者(施工者) | 施工<br>株式会社○○工務店         | ※下記に該当する場合は□にチェックを付けてください。<br><input type="checkbox"/> 自社加工 補助事業者(VI施工)において、自社工場や手刻み等により木材加工を行うためプレカットを含まない。 |                         |

原木供給に限り、1マスに複数の事業者を記入しても可。  
・複数の原木市場から、製材する木材を調達している場合  
・集成材製造のための木材を、複数の原木市場から調達している場合等  
(製材以降は同じ供給経路の場合)

【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

※使用した地域材の供給に携わった事業者について、供給経路毎に、原木供給事業者を起点にして上から順に記入してください。

※製材等事業者以降で木材の供給経路が異なる場合は、列を分けて事業者名を記入してください。

主要構造材以外は、内装材等のため、プレカットを必要としない場合は、チェックをつける必要はありません。

『「対象住宅における地域材供給体制実績表」の記載に関する注意事項』を参照のうえ上記の表を作成してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材供給体制実績表

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

地域材供給体制実績表（長寿命型 様式14）記入例（3）

記入例 3

貫抜き・貫加工を含む場合

<長寿命型 様式14>

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

地域材供給体制実績表【補助事業者記入用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「,」で区切ってください。  
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

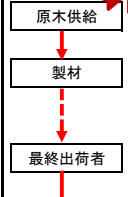
・対象住宅における地域材供給体制実績表

| 認証制度等の名称   | ① ○○県産材認証制度                | ② 合法木材証明制度   | ③                                  |
|------------|----------------------------|--|------------------------------------|
| 地域材供給事業者名  | 原木供給<br>○○県森林組合            | 原木供給<br>◇◇林業(株)  | 原木供給<br>××森林組合                     |
|            | No. 変更 1                   | No. 変更 4   | No. 変更 6                           |
|            | 製材・集成材製造・合板製造<br>有限会社△△製材  | 製材・集成材製造・合板製造<br>◎◎グルーラム(株)  | 製材・集成材製造・合板製造<br>株式会社××木材          |
|            | No. 変更 1                   | No. 変更 2   | No. 変更 12                          |
|            | 流通<br>○○建材株式会社             | 流通<br>○○建材株式会社   | 製材・集成材製造・合板製造(貫加工)<br>○○木材センター株式会社 |
|            | No. 変更                     | No. 変更 1   | No. 変更 11                          |
|            | プレカット(貫加工等)<br>□□プレカット株式会社 | プレカット(貫加工等)<br>□□プレカット株式会社   | 製材・集成材製造・合板製造<br>株式会社××木材          |
|            | No. 変更                     | No. 変更 3   | No. 変更 12                          |
|            | 流通<br>○○建材株式会社             | 流通<br>○○建材株式会社   | 流通<br>株式会社○○建材                     |
|            | No. 変更                     | No. 変更 1   | No. 変更 1                           |
|            | ▼                          | ▼  | プレカット(貫抜き・貫加工)<br>□□プレカット株式会社      |
|            | No. 変更                     | No. 変更   | No. 変更 3                           |
|            | ▼                          | ▼  | 流通<br>株式会社○○建材                     |
|            | No. 変更                     | No. 変更   | No. 変更 1                           |
| 補助事業者(施工者) | 施工<br>株式会社○○工務店            | ※下記に該当する場合は□にチェックを付けてください。<br><input type="checkbox"/> 自社加工 補助事業者(VI施工)において、自社工場や手刻み等により木材加工を行うためプレカットを含まない。 |                                    |

「貫加工等」と記入(選択)してください。

※使用した地域材の供給に携わった事業者について、供給経路毎に、原木供給事業者を起点にして上から順に記入してください。

※製材事業者以降木材の供給経路が異なる場合は、列を分けて事業者名を記入してください。



貫加工事業者Bの前後には、委託事業者Aを記入してください。

適宜、追記も可

乾燥の工程を委託する場合等

『「対象住宅における地域材供給体制実績表」の記載に関する注意事項』を参照のうえ上記の表を作成してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材供給体制実績表

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

地域材供給体制実績表（長寿命型 様式14）記入例（4）

記入例 4

プレカットを  
含まない場合

<長寿命型 様式14>

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

地域材供給体制実績表【補助事業者記入用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 田 郎、田 子

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。  
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

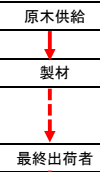
【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

・対象住宅における地域材供給体制実績表

| 認証制度等の名称      | ① ○○県産材認証制度       | ② 合法木材証明制度         | ③ 合法木材証明制度  |
|---------------|-------------------|--------------------|---|
| 地域材供給事業者名     | 原木供給<br>○○県森林組合 1 | 原木供給<br>××林業株式会社 5 | 原木供給<br>◎◎フォレスト株式会社 7   |
| 製材・集成材製造・合板製造 | 有限会社△△木材 1        | ××グルーラム株式会社 8      | 株式会社△△林業 13   |
| 流通            | 株式会社○○建材 1        | 株式会社○○建材 1         | 株式会社○○建材 1  |
| 原木材           | ▼                 | ▼                  | ▼   |
| 製材            | ▼                 | ▼                  | ▼   |
| 最終出荷者         | ▼                 | ▼                  | ▼   |
| 補助事業者(施工者)    | 株式会社○○工務店         |                    | <input checked="" type="checkbox"/> 自社加工 補助事業者(Ⅵ施工)において、自社工場や手刻み等により木材加工を行うためプレカットを含まない。<br><input type="checkbox"/> ※下記に該当する場合は□にチェックを付けてください。 |

※使用した地域材の供給に携わった事業者について、供給経路毎に、原木供給事業者を起点にして上から順に記入してください。

※製材等事業者以降で木材の供給経路が異なる場合は、列を分けて事業者名を記入してください。



プレカット事業者を通さず、工務店で木材を手刻みする場合チェックする。

『「対象住宅における地域材供給体制実績表」の記載に関する注意事項』を参照のうえ上記の表を作成してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材供給体制実績表

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

記入例 5

商流の場合

<長寿命型 様式14>

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上を対象住宅について報告する場合はシートを追加して作成してください。

地域材供給体制実績表【補助事業者記入用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。  
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

・対象住宅における地域材供給体制実績表

| 認証制度等の名称   | ① 合法木材証明制度                  | ② 合法木材証明制度   | ③ |
|------------|-----------------------------|--|---|
| 地域材供給事業者名  | 原木供給<br>〇〇県森林組合 1           | 原木供給<br>□□県森林組合 2  |   |
|            | 製材・集成材製造・合板製造<br>有限会社△△製材 1 | 製材・集成材製造・合板製造<br>株式会社◎◎材木店 14  |   |
|            | 流通<br>株式会社××商店 7            | 流通<br>有限会社△△商店 6   |   |
|            | プレカット<br>A 〇〇プレカット株式会社 3    | プレカット<br>□□プレカット株式会社 3   |   |
|            | 流通(商流)<br>B 〇木材株式会社(構成員外)   | 流通(商流)<br>〇建材株式会社(構成員外)  |   |
|            | 原木供給                        |  |   |
|            | 製材                          |  |   |
|            | 最終出荷者                       |  |   |
| 補助事業者(施工者) | C 株式会社〇〇工務店                 | <input type="checkbox"/> 自社加工 補助事業者(VI施工)において、自社工場や手刻み等により木材加工を行うためプレカットを含まない。 |   |

商流の場合、伝票の流れの通り記入してください。

※使用した地域材の供給に携わった事業者について、供給経路毎に、原木供給事業者を起点として上から順に記入してください。

※製材等事業者以降で供給事業者を降順で事業者名を記入してください。

木材の流れ

伝票の流れ

流通の後に「商流」と記入(選択)してください。

構成員外の事業者を使用した場合。

『「対象住宅における地域材供給体制実績表」の記載に関する注意事項』を参照のうえ上記の表を作成してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域材供給体制実績表

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

要件への適合確認書（長寿命型 様式15）記入例

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。  
 具体的取組み内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

**<長寿命型 様式15>**

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

### 要件への適合確認書(実績)【補助事業者記入用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

|       |             |
|-------|-------------|
| 建築主氏名 | ◆田 ■郎、◆田 ●子 |
|-------|-------------|

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「,」で区切ってください。  
 売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

・採択された要件の確認(1)～【地域材】

| 使用した地域材  | 対象となる地域材の名称 | 地域材の産地 | 認証制度等の名称  |
|--|-------------|--------|-----------|
|  | 〇〇県産材       | 〇〇県    | 〇〇県産材認証制度 |
|  | 合法木材        | 国内・海外  | 合法木材証明制度  |
| ※採択された地域材のうち、対象住宅で <b>使用した地域材</b> を記入してください。   |             |        |           |
| ↑ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち使用したものを記入してください。 ※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。 |             |        |           |

・採択された要件の確認(2)～【グループの共通ルール】

| 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取組み   | 共通ルール  |
|---|--|
| ①地域材利用に関する共通ルール(必須)<br>②地域材利用の1棟当たりの割合(必須)<br>③標準的な地域材の使用部位(必須)           | 〇〇県産材、△△県産材及び合法木材証明制度を、主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用する。<br>50%<br>主要構造材(土台、柱、梁、桁)、羽柄材に使用する。 |
| 適用申請書 様式3-1～3の4地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取組み欄に記載の取組みの内、木造住宅に関する内容を要約して記入してください。 |  |

・グループ事務局の確認

今回、補助金交付申請を行う対象建築物について、採択要件(共通ルール)に適合していることを確認いたしました。

| グループ事務局担当者名 | 確認欄 | 申請事業者代表者名 | 確認欄 |
|-------------|-----|-----------|-----|
| 優良 二郎       | ○   | 長持 住夫     | ○   |

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認欄に「○」を記入して下さい。

・対象住宅の要件の確認～【住宅の省エネルギー技術に関する講習】

対象住宅に関わる講習会の修了者の区分(次のいずれかに「○」)

|                |              |                |
|----------------|--------------|----------------|
| ○ (1) 対象住宅の施工者 | (2) 対象住宅の設計者 | (3) 対象住宅の工事監理者 |
|----------------|--------------|----------------|

対象住宅に関わる講習会の修了者の氏名・受講者番号

|       |               |
|-------|---------------|
| 氏名    | 受講者番号※3       |
| ○山 口介 | 013-13-C-99** |

※3 受講者番号がない場合は、当該講習会を修了したことが特定できる個別の番号等を記載してください。

修了証の提出は不要です。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 要件への適合確認書(実績)

適用申請書様式2-1A欄に記載した地域材の名称、産地を正確に記入してください。

【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

適用申請書様式3-1～3の「具体的取組内容」欄と同じように記入してください。  
 記入箇所違い、誤記、具体的取組内容以外の記載、等の間違いが多いので注意してください。

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認者と確認欄に「○」を記入してください。

省エネ講習会の修了者が対象住宅に関わった区分に○を付けてください。  
 交付申請時と異なっても結構です。

関わった方の氏名を記入。構成員外も可。

使用する様式は正しいですか。  
 【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。



# 要件への適合確認書（長寿命型 様式15-3）記入例

支援室から補助事業者へ送付する交付決定通知書に記載されている対象住宅番号のうち、B又はTのアルファベットから下の番号「●\*\* ¥¥¥¥##」を記入してください。  
●：B又はT。

写真については、デジタル写真をこのExcelのシートに貼り付け印刷したものと、この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。

様式15③(長寿命) 対象住宅番号 **B 1 3 4 9 6 8 0 1 3 1 5** 「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。

↑アルファベット(B又はT)がこの欄になります。

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

### 三世代同居住宅の要件への適合確認【補助事業者用】

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**  
↑姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

・三世代同居対応住宅の要件の確認

| 調理室 | 浴室 | 便所 | 玄関 |
|-----|----|----|----|
| 1   | 1  | 2  | 2  |

対象住宅に設置する個数(0,1,2,3,4等)を記入して下さい。↑

三世代同居対応住宅の要件については、上記の通りであることを証明します。

資格 ( 1級 ) 建築士 ( 大臣 ) 知事 登録 第 999999 号 氏名 ▲岡 ●郎 ▲岡

・三世代同居住宅の要件への適合を確認する写真  
三世代同居住宅の要件である調理室、浴室、便所又は玄関のうち2つ以上を複数箇所設置したのものについて、それぞれの写真データを添付してください。

| 玄関1       | 設置部位 | 玄関        | 玄関2   |
|-----------|------|-----------|-------|
| (写真データ貼付) |      | (写真データ貼付) |       |
| 1Fトイレ     | 設置部位 | 便所        | 2Fトイレ |
| (写真データ貼付) |      | (写真データ貼付) |       |

(注1)写真については、デジタル写真をこのExcelのシートに貼り付け印刷したものと、この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。  
(注2)コメント欄については、特徴についての解説を記入して下さい。

**※本様式のCD-R(電子ファイルを格納したもの)も提出してください。(1部)**

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 【H28】長寿命型 三世代同居対応住宅の要件への適合を確認する写真

三世代同居対応住宅の対象とする設備等の各設置個数を記入して下さい。

三世代同居対応住宅の要件の確認を行った建築士の資格情報等の記入、捺印をして下さい。

次の事項に注意してください。  
・施工中の写真でないこと  
・設備の全体が写り込むこと  
・狭小部分の写真でないこと

分かりにくいものは再提出の可能性があるため、外観・内観で角度を変えて多めに撮影しておいてください。

この電子ファイルをCD-Rに格納のうえ提出してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

他の補助金等の申請・受給を行わないことの確認書（長寿命型 様式16）記入例

提出は原本です。

この様式は委任状による訂正はできません。

＜長寿命型 様式16＞

他の補助金等の申請・受給を行わないことの確認書

① 対象となった住宅にて、地域グリーン化事業とは別に他の補助金等を受ける見込みがある場合、地方公共団体等の補助金等との併用については、国庫補助が含まれる場合は併用できません。

＜併用できない補助金等の例＞

- ・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業
- ・住宅のゼロ・エネルギー化推進事業
- ・既存住宅流通活性化等事業 等
- ・住宅の建設に関する、都道府県等からの補助(国庫補助が含まれる場合)  
（\*ただし、都道府県産材の使用に関する場合は、この限りではない。）

② もし、これらの補助金等を申請し、受給したことが明らかとなった場合は、補助金の返還を求められることがあります。

上記事項を確認いたしました。

平成 28 年 10 月 10 日

↑ 説明を受けた日を記入してください。

＜対象住宅の所有者の署名欄＞

| 建築主又は買主の氏名 | 所有者印 |
|------------|------|
| (署名) ◆田 ■郎 | 田    |
| (署名) ◆田 ●子 | 田    |
| (署名)       |      |

工事請負契約書又は売買契約書と同じ印鑑を押印ください ↑

以下補助事業者欄

上記内容について、地域型住宅グリーン化事業において補助金の対象となった住宅の所有者に説明のうえ、他の補助金等の申請・受給を行わないことを確認しました。

平成 28 年 10 月 10 日

↑ 確認した日を記入してください。

|                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 補助事業者名<br>株式会社〇〇工務店 |                       |
| 説明者氏名<br>(署名) 長持 太郎 | 説明者所属会社名<br>株式会社〇〇工務店 |

＜説明を行った対象住宅の建設地＞

|                                     |
|-------------------------------------|
| 建設地の地名地番<br>東京都新宿区△△町305番1、305番9の一部 |
|-------------------------------------|

様式10(長寿命)に記入した建設地の地名地番と同じです。住居表示ではありませんのでご注意ください。都道府県名より記入し、大字、字等の記入漏れが無いようご注意ください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 他の補助金等の申請・受給を行わないことの確認書

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。

建築主又は買主の直筆の署名が必要です。

建築主又は買主が、上記事項の説明を受けた日付を記入してください。

工事請負契約書又は、売買契約書と同じ印を使用してください。

連名の場合は、両者の印を押印してください。両者の印が逆にならないように注意してください。

説明者の直筆の署名が必要です。

建築主又は買主が、他の補助金等の申請・受給を行わないことを確認した日を記入してください。

地名地番です。住居表示ではありません。大字、字等の記入漏れがないよう確認し、【様式10】の「建設地」と整合していることを確認して

説明者は、本補助事業を理解している補助事業者に所属する方、グループ代表者、グループ事務局担当者のみです。

請求書（長寿命型 様式17）記入例

提出は原本です。

この様式は委任状による訂正はできません。

対象住宅1戸につき1枚作成してください。

<長寿命型 様式17>

請求書

対象住宅1戸分の請求額を記入してください。

請求額 金 1,100,000円

ただし、平成28年度地域型住宅グリーン化事業補助金として、上記の金額を請求いたします。

平成 年 月 日

↑支援室で記入します。

交付申請時の住所と同様に記載してください。登記簿謄本の本社の所在地です。移転等により変更がある場合は、変更後の住所としてください。  
(計画変更の手続きが必要です)  
「大字」「字」の記入漏れが多いので注意してください。

型住宅グリーン化事業実施支援室 殿

請求者

事業者番号

049999B1349680

↓アルファベット(B又はT)がこの欄になります。

↑「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。

正確に記入してください。

補助事業者住所

東京都中央区〇〇町二丁目5番8号

補助事業者名

株式会社〇〇工務店

代表者の職名・氏名

代表取締役 長持 住夫

代表者印



【様式9】と同じ印を使用してください。

様式9で使用した印を↑押印してください。(本社の代表印)

正確に記入してください。

対象住宅

対象住宅番号

B13496801315

↓アルファベット(B又はT)がこの欄になります。

↑「補助金交付決定通知書」に記載の番号を正確に記入してください。

振込先、口座名義、口座番号などは、別紙実績報告書記載のとおりです。

(注)この請求書は、対象住宅毎に作成してください。1回の実績報告において複数の対象住宅がある場合は、請求書が複数枚必要となります。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型 地域型住宅グリーン化事業 請求書

使用する様式は正しいですか。  
【H28】長寿命と記載されている様式を使用してください。